市民満足度調査　結果報告書

調査期間：平成23年2月1日～2月28日

京田辺市　市長公室

目　　次

Ⅰ. 市民満足度調査実施の概要

1. 調査目的 …… 1ページ
2. 調査対象 …… 1
3. 調査項目 …… 1
4. 調査方法 …… 1
5. 調査期間 …… 1

Ⅱ. 調査結果のまとめ

1. 調査票回収率 …… 1
2. 総合評価 …… 1
3. 回答者の属性 …… 2
4. 散布図で見る市民意識 …… 3
   ①　市民の満足度の高い施策の順位 …… 4
   ②　市政を推進する上で市民が重要と考える施策の順位 …… 4
5. 調査のまとめ …… 5
6. 各質問ごとの結果分析 …… 6
   （施策 1 ～ 20）

Ⅲ. 広報に関する市民の意識 ……46

Ⅳ. 市民から市政全般に対し提出された意見・提言 ……47

Ⅰ. 市民満足度調査実施の概要

1. 調査目的

調査は、京田辺市が福祉、教育、環境、産業などの様々な分野で進めてきた施策や事業などの取組みに対して、市民の皆様の考え（満足度と重要度）を聞くため実施したものであり、今後、調査結果をまちづくりの基礎資料として活用し、市民サービスの向上を目指した行政改革に取り組み、効率的で質の高い行政サービスの提供を目指す。

2. 調査対象

市内在住の満 20 歳以上の男女 5，000 人を無作為に抽出した。

3. 調査項目

市が平成 19 年度から 22 年度までの 4 年間に実施した施策を 20 項目に分類し、それぞれ取り組んだ具体的な事業を示して質問を設け、市民の施策に対する満足度と重要度を調査した。

また、それぞれの施策毎に意見・提言等の記入欄を設けたほか、調査票末尾に広報に関する質問並びに市政全般に対する意見・提言欄を設けた。

4. 調査方法

調査票を郵送により配布し、同封した返信用封筒（料金受取人払）により回収した。

5. 調査期間

平成 23 年 2 月 1 日から 2 月 28 日まで。（28 日間）

Ⅱ. 調査結果のまとめ

1. 調査票回収率

送付数:5，000 部（返送数:14 部）　実質送付数:4，986 部

回収数:　2，136 部　　回収率:42.84%

2. 総合評価（5 段階の指数評価）

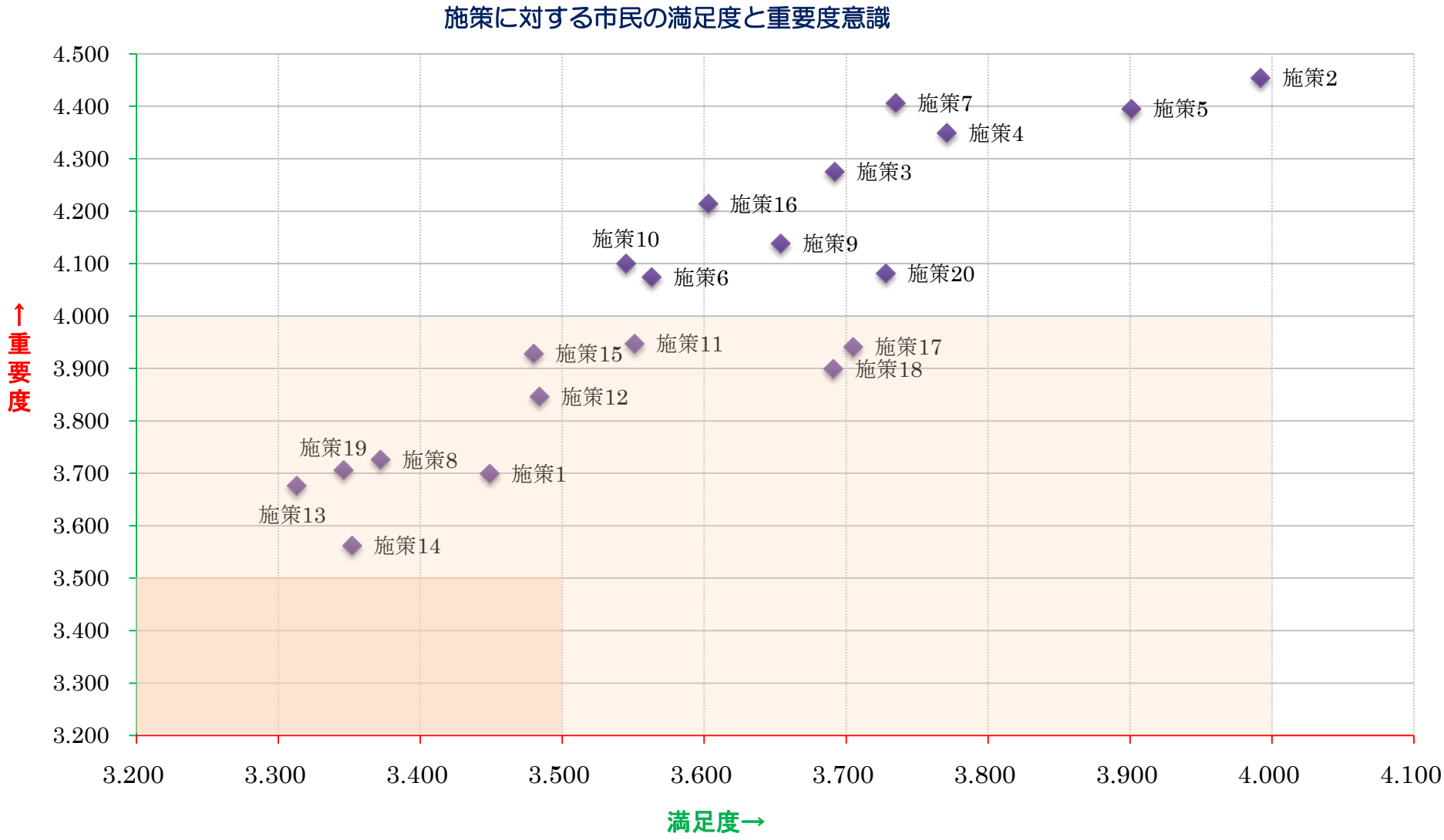
評価:　4 「おおむね満足」

3. 回答者の属性

※ 一部未記入などにより、総回答数 2，136 と各属性毎の合計数が合わないものもあります。

属性	分類	回答数	割合（%）
性 別	1. 男	896	41.9%
	2. 女	1,215	56.9%
年齢階層	1. 20歳代	186	8.7%
	2. 30歳代	409	19.1%
	3. 40歳代	343	16.1%
	4. 50歳代	327	15.3%
	5. 60歳代	528	24.7%
	6. 70歳以上	338	15.8%
職業区分	1. 会社員	495	23.2%
	2. 自営業	113	5.3%
	3. 公務員	122	5.7%
	4. 農業	28	1.3%
	5. 家事専業	513	24.0%
	6. 学生	52	2.4%
	7. 非正規雇用	289	13.5%
	8. 無職	440	20.6%
	9. その他	68	3.2%
京田辺市居住期間	1. 5年未満	270	12.6%
	2. 5年以上10年未満	273	12.8%
	3. 10年以上20年未満	415	19.4%
	4. 20年以上	1,158	54.2%
居住地域	1. 松井山手等（新大住地域）	655	30.7%
	2. 松井・大住（旧大住地域）	217	10.2%
	3. 田辺地域	669	31.3%
	4. 草内地域	318	14.9%
	5. 三山木地域	202	9.5%
	6. 普賢寺地域	62	2.9%
京田辺市在住願望	1. ずっと住み続けたい	1,379	64.6%
	2. しばらく住み続けたい	313	14.7%
	3. 将来転居する予定	86	4.0%
	4. わからない	286	13.4%

4.　散布図で見る市民意識



(1) 市民の満足度の高い施策の順位

順位	施策番号	施策の内容
1 位	施策 2	健康で安心して暮らせるまちづくり
2 位	施策 5	地震や風水害など、災害に強い安全なまちづくり
3 位	施策 4	安心して子どもを生み育てられる環境づくり
4 位	施策 7	誰もが安全・安心に移動できるまちづくり
5 位	施策 20	効率的な行財政運営の推進
6 位	施策 17	いつでもどこでも自由に学べるまちづくり
7 位	施策 3	高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり
8 位	施策 18	生涯を通じてスポーツに親しめるまちづくり
9 位	施策 9	暮らしや社会経済活動を支える道路網整備の促進
10 位	施策 16	心豊かな子どもを育てる教育の推進
11 位	施策 6	家庭、地域、行政が一体となって支え合うまちづくり
12 位	施策 11	環境に配慮した地球にやさしいまちづくり
13 位	施策 10	公共交通の充実による生活利便性のさらなる向上
14 位	施策 12	地域農業の振興と優良農地の保全
15 位	施策 15	豊かな自然の保全と緑の再生
16 位	施策 1	人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築
17 位	施策 8	調和のとれた計画的な市街地整備の推進
18 位	施策 14	同志社大学の持つ技術や地域の観光資源を生かしたまちづくり
19 位	施策 19	行政情報のわかりやすい発信
20 位	施策 13	商工業の振興によるにぎわいと活力の創出

(2) 市政を推進する上で市民が重要と考える施策の順位

順位	施策番号	施策の内容
1 位	施策 2	健康で安心して暮らせるまちづくり
2 位	施策 7	誰もが安全・安心に移動できるまちづくり
3 位	施策 5	地震や風水害など、災害に強い安全なまちづくり
4 位	施策 4	安心して子どもを生み育てられる環境づくり
5 位	施策 3	高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり
6 位	施策 16	心豊かな子どもを育てる教育の推進
7 位	施策 9	暮らしや社会経済活動を支える道路網整備の促進
8 位	施策 10	公共交通の充実による生活利便性のさらなる向上
9 位	施策 20	効率的な行財政運営の推進
10 位	施策 6	家庭、地域、行政が一体となって支え合うまちづくり
11 位	施策 11	環境に配慮した地球にやさしいまちづくり
12 位	施策 17	いつでもどこでも自由に学べるまちづくり
13 位	施策 15	豊かな自然の保全と緑の再生
14 位	施策 18	生涯を通じてスポーツに親しめるまちづくり
15 位	施策 12	地域農業の振興と優良農地の保全
16 位	施策 8	調和のとれた計画的な市街地整備の推進
17 位	施策 19	行政情報のわかりやすい発信
18 位	施策 1	人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築
19 位	施策 13	商工業の振興によるにぎわいと活力の創出
20 位	施策 14	同志社大学の持つ技術や地域の観光資源を生かしたまちづくり

5. 調査のまとめ

市政に対する市民の意識調査としては、今回実施した「市民満足度調査」が、第3次総合計画の策定に伴い、平成16年6月11日から6月28日まで16歳以上の市民5，000人を対象に実施した「市民意識調査」（回答率52.2％）以来の調査となった。

今回の調査は、市内在住の満20歳以上の男女5，000人を無作為に抽出し、市の施策を20項目に分類し、それぞれ項目毎に取り組んだ事業を提示し、それぞれ施策や事業に対する満足度、重要度について市民の意識を調査したものであり、調査設計段階では回収率 40％と見込んでいたが、最終的に2，136 人（回収率 42.84％）から回答が寄せられるなど、近隣市町で実施された類似の調査に比べても市政に対する京田辺市民の関心の高さが伺える結果となった。

回答を集計した結果、市民の市政への満足度については、定量的な 5 段階の指数評価は「4」の「概ね満足」という結果が得られた。

それぞれ、施策・事業に対する個別評価をみると、施策 2 の「健康で安心して暮らせるまちづくり」が、満足度、重要度とも最も市民から高い評価を得た。一方、施策 13 の「商工業の振興によるにぎわいと活力の創出」が最も満足度の低い施策と評価され、重要度では施策14の「同志社大学の持つ技術や地域の観光資源を生かしたまちづくり」が最も重要度の低い施策と評価された。

また、重要度では、20種類すべての施策が「やや重要」の範囲となる指数評価の範囲3.5から4.5に分布する結果となったが、満足度では、「商工業の振興によるにぎわいと活力の創出」「行政情報のわかりやすい発信」「同志社大学の持つ技術や地域の観光資源を生かしたまちづくり」「調和のとれた計画的な市街地整備の推進」など、7つの施策が「どちらでもない」となる指数評価の範囲2.5から3.5に分布する結果となった。

しかし、それぞれの施策や市政全般に対し、非常に多くの意見や提言が寄せられていることから、アンケート結果だけをもって、市政に対する市民の満足度を判断するには不十分とも考えられる。

今後、市民から寄せられた数々の意見、提言を分析し、取り組んでいる施策に見直しなど改善を加えるほか、新規事業を企画することで、より市民に満足いただける市政を推進する必要がある。

その他、「事業を知らなかった」、「広報が不十分」などという声も多く寄せられていることから、市民に対する施策の周知不足や施策事業にかかる市民の認知度の低さが読み取れる。

今後、ますます高齢化が進展し、ホームページ等の電子媒体の取り扱いに不慣れな市民が増える中、いかに行政情報を発信するか、伝達手法を含めた有効な広報・広聴システムの確立が課題と考える。

回答の中には、「今回のアンケートは行政情報を知る上でとても役立った。継続的に実施すべき。」という声も多く、行政と市民が双方向で情報をやりとりできたという意味から有効な調査であったと判断できる。今後、計画的な実施を検討する必要があるものと考えるが、調査票の様式、記入方法、調査内容等については、アンケート調査自体に寄せられた市民の声を反映し、より市民が理解しやすく、答えやすい内容となるよう方法を検討する必要がある。

最後に、今回のアンケートに協力いただいた市民の方々にお礼申し上げるとともに、数多くいただいたご意見、ご提言を市政に反映できるよう取り組みを進めるほか、市政推進の重要な資料として活用を図っていくこととする。

6. 質問ごとの結果分析（次ページ以降に記載）

施策1：人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築

- 男女共同参画社会の実現を計画的に推進するため、男女共同参画推進条例を定めました
- 人権相談窓口や相談電話を設置し、人権擁護体制を充実しました
- 市民の国際理解を深めるため、国際交流員を市に配置しホームページの英語表記を充実しました
- まちづくりチャレンジリーダー養成講座を開講し、まちづくりに主体的に参画する人材を育成しました
- 助成金を交付することで、区・自治会の活動やボランティア活動を支援しました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
普賢寺地域	3	4

人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築に対する意見・提言
区・自治会やボランティア団体への助成金の交付が本当に公平なのか、交付の目的や成果など、取り組んだ結果を年に一度市民に詳しく公開することが必要。
今後、ますます高齢化する社会生活の中、横のつながりや和を保つことが大切だと思う。
私自身、退職後には、何か人の役に立てるボランティア活動等をしたいと考えている。
取り組んだ事業について、具体的な内容を詳しく市民に説明できていない。
ホームページの英語表記や市に国際交流員をおくことは、市のグローバル化につながるので良い。
市が率先して、男女共同参画や人権保護に取り組むことは必要だと思います。
ボランティア活動をしておりますが、助成金を交付いただくことでずいぶん助かっています。
市民参画協働の時代に、まちづくりチャレンジリーダーの養成は重要だと思うが、チャレンジリーダーの養成に取り組んだ成果がわからない。
まちづくりリーダーの育成に取り組むと同時に、地域が活性化する施策を展開する必要がある。
国際化社会を考えると、ホームページは英語だけでなく、中国語や韓国語の表記もあれば良い。
アル・プラザ京田辺にある市の女性交流支援ルーム「ポケット」を土曜日、日曜日も開けてほしい。
これからは英語だけでなく、中国語、韓国語も必要になってくると思う。
チャレンジリーダー養成講座は有効だと思うが、地域の誰がされているのか知らない。余り知られた活動ではないと思う。もっと広める努力が必要。
自治会活動などの支援を強めてほしい。
行政主導のイメージがつきまといます。市民の手にゆだねる事も大切ではないですか。
まちづくりチャレンジャーを育成するのも大事ですけど、チャレンジする気持ちに持って行くよう、もっと中に入って全体が活動しチャレンジするように持って行ったらどうですか？
人材の育成やボランティア等の活動支援を充実してほしい。
人権問題は、条例や相談窓口設置だけで解決するものではない。
国際交流員とは、どんな方ですか？もっと、どんな活動をしているのかアピールしてほしい。
ボランティア活動の記事をもっと市の広報紙に載せて、市民にアピールすべき。
退職者の生きがい、やりがいづくりのためにも、これからの基礎自治体運営に「まちづくりリーダー養成講座」は重要。市民の絆づくりのために、ずっと続けていただきたい。同志社大学やNPO法人、企業との連携、協働も必要と思う。
市政の推進に、養成したまちづくりリーダーやボランティアをもっと積極的に活用するべきだ。
中国の都市と姉妹都市提携を図るべき。
男女共同参画社会の構築に条例も良いが、まず、市が率先して女性の管理職登用を進められてはどうか。
高齢者や障害者など、社会的弱者への人格尊重を拡充すべき。
法律相談を充実してほしい。
市の助成金が、区・自治会活動のどの部分に使われているのか明確にされていない。
自治会が高齢化し、市の配布物のお世話が困難になりつつある。自治会への助成金を見直し、アルバイトやシルバー人材センターによる配布を考えては。
市民による市民のためのボランティア活動が必要では。外国人に日本語を教えるボランティアや福祉施設などに出前演奏を行う音楽ボランティア活動などの支援など。
働く女性に対応できるよう女性電話相談を夜間、休日にも行うようにしてほしい。
女性の社会進出に対する差別や職種についての偏見をなくす取組みをもっと行ってほしい。
大学もあり、外国の方にも住み良い市にするため、ホームページだけでなく様々な場面に英語表記を行うことで、外国人がサービスを受けられるようにするべき。特に、緊急時における対応が必要。
留学生など、多くの外国人が市内を行き交うことになることから、国際都市を目指し、市民が参加できる講座（誰でもわかる講座）があればよいと思う。
全体的に取組みの経過や成果が伝わってこない。もっと広報活動に努めるべき。

施策2：健康で安心して暮らせるまちづくり

- 健康増進計画と食育推進計画の策定に着手しました
- 各種がん検診などを実施し、市民の疾病の早期発見と予防に努めました
- 歯のひろばや妊婦歯科健康診査を実施し、健康の源となる健康な歯の保持に努めました
- 高齢者インフルエンザ予防接種などを実施し、感染症の予防に努めました
- 上水道の浄水処理に紫外線処理施設を整備し、病原性原虫への安全対策に取り組みました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	5

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	5
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	5

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	5
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	5
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

健康で安心して暮らせるまちづくりに対する意見・提言
障害を持った人を対象にしたインフルエンザの予防接種はないのでしょうか。
各種がん検診では、早期発見で健康に対する意識が高まりました。
基本健診をやめないでほしかった。
中学生対象の子宮頸がん予防ワクチン接種については、とても嬉しく思いました。
予防だけでなく、運動による体力アップを図るべき。
「歯のひろば」は、家族で利用しています。とても役立ちありがたいです。
働いている人が受けやすい日時にも検診を実施してほしい。
施策事業の成果や効果が、具体的にどれだけあったか明示する必要がある。
子どもの医療費助成について、通院を小学校 6 年まで拡大してほしい。
各種ガン検診の受診率は上がったのですか、広報を見ていても結果がわからない。成果を知らせるべき。
高齢者（介助）に対し、すぐ往診に来てくれるよう医療体制を充実してほしい。
インフルエンザ予防接種について、任意でいいので小学生までは学校で集団接種してほしい。全額自己負担では、金銭的に家計の負担が大きいので補助金があれば良いと思います。
「食」に関して、“命、生きていくことそのもの”に直結する。普及と広報、啓発に力を入れるべき。
ポリオワクチンは大丈夫なのか不安です。乳幼児のインフルエンザ予防接種の援助がほしいです。（自費 2 回は高い）
中学生を対象とした「子宮頸がん予防ワクチン」の無料接種は、とても良かった。
成果をわかりやすく市民に PR し、各種検診の受診を促進してほしい。
緊急医療体制を充実させる必要がある。
健康保険証を使った医療費内訳を 2～3 ケ月に 1 度送って来ているが、経費のムダ遣いでは。半年～1 年に 1 回で充分ではないか。以前働いた時の継続保険証の時は、半年に 1 回位のペースだったと思う。
施策そのものは良いが、効果はどうだったか検証してほしい。
食育を考える時、中学校までは給食が必要だと思います。
公園に、老人が足等の筋力を維持できる器具などがあればいいと思う。
乳がん、子宮がん検診。現状では 2 年に1回ですが、毎年検診できるようにしてほしい。血液検査も以前は指定されているところで受ける事ができたのですが、今は受ける事ができない。
健康診断を、もっと快適に受けられる工夫をしてもらえると受診人数も増えると思います。
高齢化が進むにつれ、自分自身の健康に対する意識も高まるので、生活習慣病等に関する取組みなど、今後も積極的に行っていただけたらと思います。
国保加入 1 年目に、人間ドックの補助がないのは不満です。
がん検診について、受診者の何人が早期発見できたのか。その結果を集計し、効果を評価してください。
がん検診を市内指定医療機関で受診できるようにしてはどうか。
食育指導は、たいへん重要。若い世代に対し、学校、職場、地域で食べ物の重要性を理解できるようにしてほしい。
差額を自己負担してでも、検診の医療機関先の選択をもう少し広げてほしい。
各種検診等を平日だけではなく、土曜日にも実施してほしい。
基礎健診にあった血液検査がなくなったのは残念。毎年の数値で傾向がわかり、これこそ早期発見につながると思うから。
食育として、地域の野菜や旬の野菜を使った健康メニューや、残った食材を使った簡単メニューを広報などで紹介してはどうか。
食育では、「食べ物を大切にいただく」という点も大事にしてほしい。小学校で給食時に残ったご飯を、以前は先生がおにぎりにしてくださっていたが、「それはダメ」という事になり廃棄されていると聞く。非常に残念。衛生面からの配慮かもしれないが、やはり食べ物の大切さも、しっかり子どもに伝えたい。

施策3：高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり

- 地域密着型サービス事業を行う介護保険施設の施設整備を支援し、介護サービスの充実を図りました
- 年間を通じ、介護予防に向けたピンピン教室などを開催し、高齢者の健康保持に努めました
- 後期高齢者医療被保険者の人間ドック受診にかかる助成制度を新たに設けました
- 社会福祉法人が行うケアホームの整備を支援しました
- 障がい者施設で作られる製品の販路と受注拡大を支援しました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくりに対する意見・提言
障害者の雇用を拡大してほしい。
障害者施設への仕事を、市でもっと増やす必要があると考えます。
障害者の施策が少ない。軽度な発達障害児（者）が、安心してすごせる施策をお願いします。療育教室を小学生以上の子どもたちに開いてもらえないのは不満。
神経症や鬱などの心的障害者への福祉を充実させてほしい。
徒歩距離圏内で気軽に利用できる施設を望む。
介護施設の入所待機者が大変多いので、施設の充実をしてほしい。
高齢者や障害者だけでなく、市民みんなが助け合うまちになればいいと思う。
高齢化が加速する中、きめ細かな施策をお願いします。例えば、独居老人の定期的巡回制度や生活支援制度など。
視覚障害者が一人で安心して歩けるまちづくりのため、特に、駅ホームなどで健常者が声をかけることが必要。
介護予防活動、地域包括支援センター等の活動をもっとアピールした方がよい。地域包括支援センターを細やかに活動できるように、3から4ブロックに分けてはどうか。
障害者施設で、保育所、幼稚園、小学校で使えるグッズを製造すればどうか。
施設等に入れない介護難民の対策に力を入れてほしい。
現在、独居老人の安否を確認する手段がないのでは。
障害者には、1 週間に 1 回程声をかけてほしい。現在は、年間 1 回程度の実施です。
高齢者や障害のある者に、バス運賃や電車賃など交通費の補助をしてほしい。
京田辺市に限らず、金銭的に裕福な高齢者にも同じサービスが必要かと疑問に思う。
高齢者施設の利用が、一部の人だけにかたよっているように思う。
障害者が生き生きと働くことのできる施設を充実すべき。障害者を雇用する企業に助成金を出し、雇用拡大を求めます。
私の母がピンピン教室に楽しそうに通っています。年寄り同士お友達もたくさんでき喜んでいます。
高齢者が平等に施設を利用できるようにしてほしい。
受けたいサービスが受けやすくなるよう施設の拡大、ショートスティ事業の拡大など、高齢者施策を充実してほしい。
歩道の点字ブロック等の意味、機能について、市民に周知する必要を感じる。
NPO 法人、民間の機関、マンパワーをもっと活用できるよう工夫していただきたい。
障害者施設でつくられる製品の販売場所を常設化してほしい。
ますます老老介護が増える。自宅介護は家族の負担が大きいため、もう少しきめ細かいサービスをお願いしたい。
障がいのある人が体を動かせる（スポーツなど）所が少なすぎる。宝生苑の浴室は必要ないのでは。一部の人だけが利用していると聞いていることからシャワーでよい。
介護予防や介護サービス事業で内容を知らない事が多い。広報されていると思うが、もっと高齢者向けの通知や回覧がほしい。
高齢者や障害者施策で、住民との連携をどうするかにもっと力を入れるべき。
介護予防に向けた高齢者向けの教室はとてもよい。歌声喫茶や脳トレ教室など、精神を健やかにしボケ防止にもなるような事も計画しています。サークル活動できるように、市がきっかけをつくってほしい。
一人住まいの高齢者が多くなっていることから、孤独死を防ぐような政策が必要と思う。
市が中心になった障害者の製品を紹介する場がほしい。
認知症の親の介護を日々行っています。相談できる団体等の案内など、もっと広報してほしい。

施策4：安心して子どもを生み育てられる環境づくり

- 河原保育所を建替え、定員増を図ったほか、同所に地域子育て支援センターを併設し、子育て支援の充実を図りました。また、市北部の保育ニーズの高まりに対応するため、松井山手地区の市有地を活用し民間保育所の開設を進めています
- 留守家庭児童会の対象児童の拡大と開設時間の延長により、放課後における児童の安全な居場所を確保しました
- 子ども医療費の助成を入院は中学校3年生まで、入院外は小学校3年生まで拡大しました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	5
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	5
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

安心して子どもを生み育てられる環境づくりに対する意見・提言
小学校卒業まで、医療費を無料にしてもらいたい。
河原保育所にある地域子育て支援センターの他地区への展開を望む。
留守家庭児童会の対象を、6 年生まで拡大してほしい。
子ども手当より、保育所、留守家庭児童会の充実にお金を使うべきだと思います。
子どもが安心して遊べる場所をもっと作ってほしい。
子育て現場の声をもっと聞き、若い母親達の現状を行政はもっとしっかり理解していただきたい。
病気の子どもを預けられるよう、通所中の保育所内に病児保育ルームを設置してもらいたい。
子育て支援医療費について、入院外を拡大するより、月に3千円を超えたら助成するなどにした方が良いと思う。
今の時代、日曜日、祝日や年末年始も保育サービスを受けられるようになればと思う。
サポートのない核家族の母親のため、病児保育ができるところが多くあるといい。
中学校給食の実施や保育所の増設など、子育て環境を充実してほしい。
三山木地域の保育定員を増やしてほしいです。また、兄弟がいる場合、必ず同じ保育所に入れるようにしてほしい。
中学校給食の早期実施を願います。
子ども見守隊、パトロールに補助金を出し、登下校時の児童の安全確保をもっと図るべき。
同志社山手内に、民間でもいいので幼稚園ができればと思う。親子教室などは、抽選になる教室が増えているので、もう少し枠数を増やしてほしい。
留守家庭児童会の対象年齢の拡大と、保育園と同じ夜 7 時まで開設されるよう希望する。
児童の通学路や学校付近では、地域住民との連携によるパトロールが必要と思う。
市南部における子育て支援の拠点が不充分と思う。南山子どもセンターが、充分機能していると思えない。
仕事を持つ母親がほとんどなので、中学にも給食を導入すべき。
放課後、子どもと一緒に遊んだり、勉強を見てくれる人（高齢者）を確保し、子どもが安心して遊べる場所を設けるべき。
給食費を払わない家庭について、専任の集金係をおいて対応すべき。（生活困窮の場合は生活保護をすすめる）
少子化対策として、不妊治療に対する支援も充実してほしい。
子育て支援策は施設を建てるのも大切ですが、ソフト面こそ大きな効果があると思う。市の支援が児童委員任せになっていないか、市は充分な側面支援を行っていますか。
子育て支援について、保育所や留守家庭など、小さい子どもに対してばかりの施策でなく、一番金銭的にも負担がかかる年代への支援を充実してほしい。
子育てひろば「てふてふ」の利用時間を延長してほしい。
子どもの安全な遊び場を確保してほしい。
宝生苑に児童館を併設されたが、日曜休館、閉館時間も早すぎ子どもの利用できる時間が少ない。子どもが安全に過ごせる場として機能させてほしい。
親が病気になったりした時、安心で利用しやすい保育サービスの制度がほしい。
土曜日の保育時間について、午後 6 時頃まで延長できないか。
子育てしながら、母親と父親の両方が働く事を普通だという考え方は正しいのでしょうか？せめて幼稚園へ入園する年齢までは、一人の子どもに一人の大人がかかわってあげないといけないと思います。保育所という箱をつくるだけではなく、保育士さんの増員等、より一層のサポートが必要ではないでしょうか？
夜間の救急（小児科等）に対応してくれる病院の充実を望みます。
子育ての母親が交流したり、子どもが安心して遊べる広い広場の整備を求めます。
子育て支援医療費助成について疑問を感じる。無料のため、少しの症状でもすぐ医者に行くようになっていないか。
児童虐待に対する対応も重要です。施策を充実するべき。
児童手当に戻った場合も含め、子ども手当から給食費を自動引き落としにすべきだと思う。

施策5：地震や風水害など、災害に強い安全なまちづくり

- 自動体外式除細動器（AED）を市内38カ所の公共施設に配備しました
- 耐震診断士の派遣や耐震化が必要と診断された木造家屋の耐震改修に助成を行いました
- エアテントや簡易トイレ等の災害用資材を充実しました
- 災害時の情報伝達手段としてデジタル地域防災無線を整備しました
- 災害情報として、地震ハザードマップ・洪水ハザードマップを市内全戸に配布しました
- 急増する携帯電話やIP電話からの１１９番通報の位置を特定できる情報システムを導入しました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

地震や風水害など、災害に強い安全なまちづくりに対する意見・提言
災害時の避難場所が遠くて場所も狭い、もっと増やすべき。また、避難所への道案内も付けるべきだと思う。
災害がおきた場合に備え、緊急避難所の拡大を希望する。
公共施設は夜間使用できないため、24 時間営業しているコンビニなどに AED を配備してはどうか。
防災組織（自主防災を含む）を充実するとともに、要支援者情報を組織に伝え安心なまちづくりを。
災害時に適確に対応できる職員と地域のリーダーを育成することが大切だと思う。
AED の設置場所の案内やデジタル防災無線の使用方法等を具体的に市民に示してほしい。
AED の設置場所をもっと周知し、24 時間いつでも直ぐ使える場所（カギのない場所）への設置を増やしてほしい。
何かあった時に行動できる人員体制の整備が最も重要だと思う。
災害時の避難場所（学校）を増やし、簡易ベットや布団などの災害備品をもっと充実してほしい。
AED がせっかくあっても、使い方がわからないのでは何もならない。もっと使い方を啓発するべき。
小・中学校や警察でやっているのと同じように、市民に災害情報の配信をしたらいいと思います。
避難所に子ども向けトイレ、おむつ替えができる広いトイレが必要では。
要支援者を見守る（救出する）ネットワークの構築が遅れていると思う。早急に取り組むべき。
障害のある方や一人暮らしのお年寄りが、災害時に素早く非難できるよう地域での取組みが必要と思う。
地域ごとに、地震が起きた時などのシュミレーションをしてほしい。
高層マンションに対する災害対策を充実する必要がある。松井山手地区は、人口が増加していることから避難所や災害用備蓄品が足りているかどうか心配。
ハザードマップを配布しても住民はよく見ていない。もっと広報に努める必要がある。
建物以外に崖地やため池の耐震化も早急に進められたい。
災害はいつ何が起こるかわからない。市民に災害に備えた意識啓発をもっとしていただきたい。
災害時は、自治会単位など、小さい地域単位での情報伝達を密にすることが必要と思います。
市内の随所に災害（防災）公園を充実すべき。災害時、遊具やベンチが炊き出し設備になるなど、避難住民の需要に対して安心できる材料の供給を。
AED 設置場所のマップを作ってほしい。
東南海沖地震を想定し、自治会を通して絆づくりや安全対策を全市民に取り組んでもらうことが必要と思う。
ハザードマップの危険区域に住んでいます。危険区域に対し、今後どのように対応されるのでしょうか。マップ作成だけで終わらず、今後の対策についても聞きたい。
いざという時、高齢化で年寄りばかりになった自治会が機能するか心配です。
災害への知識や非常時の助け合いのノウハウを勉強できる学習会などを行ってほしい。
AED を多くの人が使えるよう講習をもっと多く開催してほしい。
避難場所に生理用品、介護用品、育児用品も備蓄してほしい。
災害時の行動マニュアルを作成し、それをもとに各地域単位で訓練すべき。
ハード面を整備していても、町内に小学生が何人、老人が何人などという情報を皆が知る必要がある。民生委員だけが情報を知っているような地域づくりでは、だめではありませんか。
公民館に防災無線があるが、災害時に役立つか疑問です。各世帯への連絡体制も必要ではないでしょうか。自宅の防災無線から災害情報を得て避難し、助かった事例もあります。
自治会単位で、地震、洪水の時の避難方法などをより具体的に考え、訓練を実施してほしい。
災害時避難場所、避難場所へのルート等の周知を徹底するよう工夫してほしい。（訓練の実施等）
本当に緊急事態が起こった時、機能するのかが心配。住民の地域のつながりを作るため、公民館や自治会の活動が重要だと思います。

施策6：家庭、地域、行政が一体となって支え合うまちづくり

- 災害時に地域で助け合う共助組織として、各区・自治会の自主防災組織づくりを支援しました
- 地区公民館を活用した子どもの居場所づくり事業に取り組む区・自治会を支援し、子どもが安全で安心して過ごせる居場所の確保を図りました
- 社会福祉協議会と協力し、住民参加による地域福祉推進の各種事業強化を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	4	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	3	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

家庭、地域、行政が一体となって支え合うまちづくりに対する意見・提言
住んでいる自治会が大きすぎ、機能しにくくなっているように感じる。
民生委員、児童委員を増やし、住民の中にとけこんだ活動が必要と思う。
今の時代、隣人、近隣での助け合いが大切という住民意識が弱い。
地域自治会の組織づくりが十分でない。
退職者や高齢者が各地区の公民館などで活動することに補助金を出すなど、支援することで人の繋がりが出る。
近年、近所づきあいが希薄になっているので、いろんなコミュニティが存在し、気軽に参加できるようになればいい。
社会全体で子どもを見守る事は大切ですが、一番大切なのは親や家庭がしっかり子どもを守ること。
自主防災組織が絵に描いた餅となっている。実働に向けたフローチャートの作成と演習が必要と思われる。
市民が支え合うまちづくりは、市よりも区や自治会が主体で推進すべき。
市が介入するより、地域の意識を高める必要がある。地域性を認め、市は側面から援助を行うべき。
「支え合う」という前に、「知ってもらう」という取組みができていない。だから支え合えないのではないか。
地域で助け合う組織作りには、公民館などの有効利用を促進する必要がある。
地域と家庭・行政が関われる行事、場所など、地域全体で子どもを見守り、大人同士の連携もとれるような機会を少しでも多くもてるようにすべき。
移り住んで 5 年目となりました。知りあいも少なく、子ども達もつながりを持たせたいので、もっと地域での触れ合える場を設けてほしいと思います。
学生も参加しての子どもの居場所づくりも開かれるようになりました。昔のように、子どもが積極的に外で遊べる環境がもっと増えたらと願います。
面倒を見る側の人材が不足している。
新旧住民の調和が取れていない。社会福祉事業についても、もっと開かれた運営にすべき。なじみの一部の人の活動になってしまっている。
地域によっては、子どもの人数が少なく高齢者ばかりとなる。子どもとの接触が少なく、いつも残念に思っている。イベント開催等により、子どもも高齢者も大勢で一緒に楽しめる催しがもっと必要と思う。
学校だけの場所でなく、お年寄りも参加して子どもを守れる地域になってほしい。
家庭、地域、行政がしっかりつながっていてくれると安心できるので、市民の間に繋がりの生まれる取組みがほしい。
児童の登下校時、通学に同行してくれる地域ボランティアを市で募集してほしい。
他地区の自治会活動で良いものがあれば、参考にしたいので広報で紹介してほしい。
様々な家庭がある中で、地域で地域の人達を支えて行く事は大切だと思います。人のつながりが少なくなっている中、行政が関わりながら住民がつながる事ができる環境づくりが必要になってくるのでしょうか。

施策7：誰もが安全・安心に移動できるまちづくり

- 安心して移動できる歩行空間の整備に向け、バリアフリー基本構想の策定を進めています
- 近鉄新田辺駅東側とJR三山木駅にエレベータを設置しました
- JR京田辺駅南側の信楽街道踏切の拡幅事業を進めています
- 警察やPTAなどと一緒に安全踏査を行い、通学路の改善を図りました
- 歩道のカラー塗装により、車道と歩道を分離し、通学路の安全対策を図りました
- 区・自治会からの要望により、防犯灯やカーブミラーなど安全施設を設置しました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20歳代	4	4
30歳代	4	4
40歳代	4	4
50歳代	4	4
60歳代	4	4
70歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	5
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

誰もが安全・安心に移動できるまちづくりに対する意見・提言
交通量が多いのに歩道の幅が狭い地域が多い。道路幅を広げるなどの対策が必要。
通学路の安全踏査は、警察の専門的な指導も受けられるので通学路の安全向上に役立っていると思います。
府道 22 号線（八幡木津線）は、まだまだ安全に走行できない。歩道整備が必要。
JR 同志社前駅付近から興戸の上村内科医院付近までの八幡木津線は、特に危険である。大学生や児童・生徒の通学路でもあり、歩道を広げて自転車などスムーズに通れるようにすることが必要。
車道、歩道、自転車道の区別が望まれる。安心して歩いたり、自転車に乗れる道路の充実をお願いします。
夜間に防犯灯、街路灯の位置等の確認をし、機能として有効か調べてほしい。
旧 307 号線、府道八幡木津線の歩道整備を早急に取り組んでほしい。
カーブミラーを取り付けてもらっても、植木等で見えなくなっている場所もあり、確認が必要と思います。
上りのエスカレーターはどこにでも有りますが、高齢者が増える中で下りも必要ではないかと思います。
歩道のカラー塗装は、歩道のない道路の歩車道分離に効果があると思っています。
新田辺駅踏切をベビーカーで渡ろうとすると、脱輪してしまうことが多く危険です。
子どもの安全のため、通学路の安全対策にもっと取り組むべき。
区・自治会からの要望に、もっとスピーディーに対応願いたい。
通学路に朝夕立っておられる安全ボランティアさんの役割（功績）にも、もっと光を当ててほしい。
新田辺駅前から田辺高校間の旧 307 号は、狭くキケン。田辺高校交差点南東角には、歩道さえ確保されていない。事故が起きないよう改善が必要。
今の時代、街の防犯対策として、定点監視の防犯カメラの設置等も必要になっているのでは。
防犯灯の消えている所、設置の必要な所を把握するため、住民からの指摘だけでなく、市職員が見て回る事も必要ではないか。
JR 大住駅にもエレベーターなどが必要ではないですか。バリアフリーとは、ほど遠い状態です。
通学路になっている道路を、スピードを出して通って行く車が多い。スクールゾーンを作るか、登校時間帯を車輌通行止めにするなど、対策をしてほしいです。
ボランティアによる児童見守りには限度がある。有償で見守りを依頼するなどして、子どもの安全対策を充実してほしい。
道路整備も大切だが、小・中学生の自転車マナーもしっかり指導すべき。
八幡木津線の興戸あたりの道幅の拡張、歩道の設置、又は通学時間帯の大型車両通行禁止など、警察や府、市で協力して対応するべき。交通量からして、自転車、歩行者の往来は危険すぎる。
歩道がカラー塗装されたが、通行区分を児童が守っていない。学校で指導すべきである。
区・自治会の要望だけでなく、地域に出向いて現状調査や地域住民の意見を直接聞くなりして取り組んでほしい。
カーブミラーが設置されていても、ミラーが傾いて見にくくなっている箇所がある。居住地なら自治会役員に頼めば済むのでしょうか。区、自治会任せではなく、市の担当部署も定期的に見回りを徹底してほしいと思います。
車椅子で移動困難な所が多い。歩行空間の整備は、車椅子での移動可能を基本に進めてほしい。
市だけでは安全・安心に限度がある。もっと警察の巡回をしてほしいです。
新田辺駅東口のエレベーターは、非常に助かっている。

施策8：調和のとれた計画的な市街地整備の推進

- 駅前広場や公園整備など三山木地区特定土地区画整理事業を推進しました
- 近鉄興戸駅西側地区の整備基本計画を策定しました
- UR 都市機構による同志社山手の整備を促進し、まちびらきを支援しました
- 都市計画の基本となる都市計画マスタープランについて、ワークショップやパブリックコメントを実施し、改訂版の策定を進めています

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	3	4
学生	4	4
非正規雇用	3	4
無職	3	4
その他	3	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	3	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
普賢寺地域	3	4

調和のとれた計画的な市街地整備の推進に対する意見・提言
JR 同志社前駅周辺の整備が不十分。市の事業が、三山木地区に偏りすぎでは。
新田辺駅東側を、活気あるかつてのような街になるよう整備していただきたい。
三山木区画整理事業は長く時間がかかりすぎ、インフラ整備ができただけで街として機能していない。
市の 10 年先、20 年先の計画がわからない。何事についても、市民に中・長期の計画を広報するべき。
付近の人口増で JR 松井山手駅付近の朝夕の渋滞が激しい。多くの送迎車両などでロータリーが危険。
ホームページで、市の計画について進行状況をもっと頻繁に公開してほしい。
三山木区画整理交差点の整備に時間がかかりすぎ。早く山手幹線を精華町まで開通しないと駅前の発展も望めない。
同志社山手地区にも商業施設がほしい。
同志社山手地区にも幼稚園、保育園、小学校の整備が必要だと思います。
三山木に市の事業であれほどの駅舎が必要か。利用者の多い JR 大住駅周辺は、未整備のままである。
最近、高齢者などのウォーキングが増加している。安全な歩道の表示や自転車との事故防止対策が必要。また、飲み水のある公園マップを作り表示しては。
市街化整備と並行し、調整区域にある旧村の整備も進めてほしい。
三山木地区土地区画整理事業区域に公共施設を誘致し、豊かな街づくりを望みます。
大住駅前を整備してほしい。
同志社大学生が多数利用する近鉄興戸駅から大学までの道路や興戸駅、同志社前駅周辺を整備してほしい。
都市計画事業の実施には、多額の予算が必要となる。経済、教育、環境など、自治体の個性化などを熟慮した上、市の構想を打ち立て優先順位を付け、計画段階から住民の意見を取り入れ、行政と市民の協働で事業を行うことが大切と思う。
大住以外の区域でも、道路に自転車通行帯を整備してほしい。
市街地周辺の農地や山林が残るように、市街地整備を行ってほしい。
三山木地区特定区画整理事業は、多額の予算を注ぎ込んでいる割に、あまり効果が出ていない。あまりにも南部地域ばかりが優先されているのではないか、一日も早く完成して北部の大住駅前整備にも着手してほしい。

施策9：暮らしや社会経済活動を支える道路網整備の促進

- 新名神高速道路や第二京阪道路など、広域幹線道路の整備を促進しました
- 山手幹線や松井大住線の幹線道路整備による道路ネットワークの強化を図りました
- 市内主要交差点に交差点名を表示し、来訪者の誘導と緊急時の位置特定に備えました
- 市北部地域の山手幹線自転車専用帯で、安全な歩行空間の確保に向け、自転車と歩行者の通行を分離するための整備を進めています

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

暮らしや社会経済活動を支える道路網整備の促進に対する意見・提言
自転車専用道を整備するだけでなく、自転車利用者に通行区分を守るよう指導してほしい。
府道八幡木津線は極端に狭い個所もあり、安全面で改善が必要。
京奈和自動車道の100円橋を無料化できないか。
最近、山手幹線の渋滞がひどい。2車線化、信号調整など対策できないか。八幡市との境界付近に大型量販店の出店計画もあり、さらに渋滞がひどくなる。脇道に車が多く入ることで、住宅内道路の危険度が増すのではないか。
道路工事を行う場合、何のための工事をしているのか通行人等に知らせる必要がある。
山手幹線も自動車の量が増え、年々渋滞してきている。自転車専用帯の整備を進めることで、市民が安心して自転車で買い物ができるようになり、通行車両の減少にもつなげられるのでは。
交差点名の表示で、街がわかりやすくなった。同志社山手で止まっている山手幹線の早急なる全線開通を願う。
山手幹線の車の通行量が増えているので、新たな道路等を建設するなど、対策が必要であると思う。
府道八幡木津線の田辺地区と興戸の辺り、幅員を拡げて歩道を確保してもらいたい。
市北部における土曜日、日曜日の慢性的な渋滞解消のため、う回路となる道路の整備を望みます。
高速バス乗り場利用者の駐車スペースですが、現状は実態に見合っていません。利用者はスーツケースなど、どうしても荷物が重い場合が多く、少しでも近くに行きたいと思います。早急な対応をお願いします。
人と自転車にやさしい道路整備について、もっとスピードアップをよろしくお願いします。
市の発展のためにも、山手幹線の全線開通のスピードアップが必要。
自転車と歩行者の通行分離など、生活道路の充実、促進を第一に取り組んでほしい。
新名神の早期実現で、さらなる京田辺市の発展が望める。
子どもがよく自転車に乗るので、自転車専用帯が整備されて助かります。
幹線道路の整備は進んでいるが、生活道路となる暮らしの道が変わっていないように思う。
第二京阪道路〔側道〕の表示がわかりにくい。京田辺の地名を入れないとわかりづらい。
打田地区の府道は、大型ダンプなどの交通量が多い。道も狭く非常に危険。バイパスなど対策をしていただきたい。
高齢化社会となる中、大きな道路より生活道路に視点を当てた整備をしてほしい。
大住工業専用地域を拡大しようとされていますが、通行車両の増加で困るのは地元住民です。通勤の車が増え、生活環境上問題が生じています。工専地域へのアクセス道路の新設整備をしていただきたい。
田辺中学校に自転車通学する生徒が安全に通学できるよう、道路整備が必要だと思います。

施策10：公共交通の充実による生活利便性のさらなる向上

- JRの大住駅と三山木駅に駐輪場を整備したほか、京田辺駅でも駐輪場整備を進めています
- 民間バス事業者に補助金を支出することで、市役所や高齢者福祉施設の常磐苑と宝生苑にアクセスする路線を新設したほか、高齢化の進む普賢寺地域での運行数を充実するなど、市内のバス路線を再編しました
- JR西日本に対し、片町線（学研都市線）の全線複線化促進と輸送力増強を働きかけました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	4	4
40 歳代	3	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	3	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

公共交通の充実による生活利便性のさらなる向上に対する意見・提言
市役所行きのバスの便数が、非常に少ないと思う。
片町線の全線複線化を早くしてほしい。松井山手を拠点としたバス路線を確保し、便数を増やしてほしい。
路線バスのルートがわからない。駅前の駐輪場は、いっぱいで置く所がない。
普賢寺地域の現状を全くわかっていないようで不満。市民一人一人が納得できる決断を望む。
JR 松井山手駅周辺に駐車場や駐輪場がなく困っている。
JR 京田辺駅の駐輪場の整備を早く願いたい。
時間帯によって、バスを小型車両で運行しては。
民間バス補助金方式について、利用状況をよく検証してください。利用状況が心配です。常磐苑、宝生苑へのアクセスのためであれば贅沢です。
民間バスの利用増は、あまり期待できない。バス会社への補助金は無駄に思います。
自転車を放置している場所が多く、歩道が危なく、歩きづらいところがある。
大阪へ JR の時間短縮は、京田辺の発展に不可欠と思う。近鉄三山木駅に急行停車を。
高齢化が進む中、自動車より、公共機関の利用が拡大されるよう取り組むべき。
松井山手駅前の自転車置き場を、終電の時間まで利用できるようにしてほしい。
バス路線再編により、大住ケ丘から新田辺へ行く場合に大幅な迂回が生じた。常磐苑と宝生苑を結ぶ路線も本当に必要なのか疑問です。
新田辺駅から関空行きのバスがなくなったのは不便です。
高齢者福祉施設を利用したいが、アクセスできるバスの便が少なく利用しにくい。
JR 最終電車を京田辺駅まで延長できないか。
三山木駅に停車する電車の本数を増やしてほしい。
エコな乗り物として、自転車にスポットをあてた施策を充実してほしい。
松井、岡村、東林など、大住の旧村部を通るバスが少なすぎるように思う。
今後、高齢化社会になるにつれ、生活密着型のバス路線を考えてほしい。
公共機関で移動できるように、さらなるバス路線を充実してほしい。
公共交通を充実された場合、その結果について2～3年見てみることが必要。JR、バス会社に、地域へのサービスをもっと要求すべき。
公共バスについて、ルートマップなど、市民にもっと広報しないとわかりません。
民間バスでなく、市独自の小型ワゴン車で交通の便を確保する事は無理ですか。
高齢者の運転免許返上にかわる移動手段の確保は大切。買物や通院に利用できるよう、小型で小回りがきき便数も充実したバス交通にしてほしい。
JR 三山木駅高架下の駐輪場の値段が高いと思う。京都市内と同じ値段では、ちょっととめる気にはなれません。以前のように、無料の駐輪場を作ってほしい。
ヨーロッパ等のように、自転車の利用を促進し、エコ生活への移行を目指すべき。そのため、無料駐輪場の整備や駅周辺への車の規制をすべき。
高齢化社会を考えると、公共交通の充実は重要となる。バスの低床化と路線の充実に、もうひと工夫を願います。
車社会の中で、バスや電車のダイヤがじり貧とならないためには、側面的、間接的な市の援助が欠かせないと思う。
民間バス事業者に多額の補助金を出し、1 時間に 1 本程のバスが走行しているが不便なためか空席が多いようです。もっと利用しやすいルートに再編してはどうか、税金の無駄遣いのように思います。
無料駐輪場には、持ち主のない自転車がたくさん放置され駐輪スペースがない。一度、整理してはどうか。
時間帯、曜日、季節に対応し、小型バスを併用するなどしてバスを運行すれば良いと思います。過疎、高齢者が多い地域では、決まったバス停だけでなく、手をあげれば乗降できるようにすることで、より便利で利用しやすくなると思います。
普賢寺地区は老齢化率が高く、現在自家用車に乗っている人も、近い将来は公共交通機関を利用せざるを得なくなると思われる。児童の通学バスを路線バスと統合し、効率的な補助金運用を行い、便数増などバス路線のさらなる充実を希望します。

施策11：環境に配慮した地球にやさしいまちづくり

- 区・自治会による一斉清掃など、市民の美化活動を促進しました
- 環境パトロール等による不法投棄や野焼き防止への監視体制を強化しました
- 市民グループと連携してマイバックキャンペーン等に取り組み、ごみの減量化を図りました
- 市役所庁舎などで環境マネジメントシステム認証を取得し、公共施設の環境改善を図りました
- 補助金を交付することで太陽光発電装置の普及を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	3	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

環境に配慮した地球にやさしいまちづくりに対する意見・提言
よく野焼きのにおいが家の中まで入ってくることから、監視体制が強化されているのか疑問を感じます。
太陽光発電などは、もっと力を入れて普及に努めるべき。
市内一斉清掃は、高齢者世帯や共働きの世帯が増えるなかで負担になっている。他の方法はないか。
共同墓地のゴミ処理について、市の清掃車で収集してもらいたい。
ごみの分別をもっと細かく分けるべき。「燃やすごみ」にプラスチック類が含まれているが、分けるべきではないか。
廃油（てんぷら油）の回収等もしてほしい。大型ゴミ回収について、記名方式はやめるべきではないか。
環境への取組みは、市がやること、自治会がやること、個人がやることを明確にし、徹底する必要があるのではないか。
アルミ缶を出すと、市のゴミ収集車が来る前に見知らぬ車がすぐに回収している。違法ではないのか。対策を。
乾電池の回収回数が少なく不便。びん、缶の回収も回数を増やすか、リサイクル回収ボックスがあればと思う。
卵パックのリサイクルもしてほしい。
防賀川、馬坂川などの整備を定期的に行ってほしい。ごみの堆積など、状況がひど過ぎる。浚渫してほしい。
ペットのフン放置が目立つ。飼い主への厳重注意を呼び掛ける看板を。また条例を作ってペナルティーを課すようにすれば。
他市では、ゴミ処理の有料化が進んでいる。本市も徹底したゴミ政策を打ち出すべきでは。
農家の野焼きが多いと思う。対策として、耕作放棄地等を利用して廃棄農作物や刈り草の堆肥化に取り組んではどうか。
環境への取組みは、行政と市民による協働が大切と考えます。大学、企業、行政と市民が横の関係で円滑に連携、協働できる体制づくりを願います。
自治会をもっと活用し、年間事業としてプログラム化して取り組むことが必要ではないか。自治会を支援することで市民を動員し、一人ひとりの力を生かせるよう役割も明確にすべき。
公共施設に太陽光発電システムをもっと導入してほしい。
山間部では、道路脇などへの不法投棄が多々みられる。環境パトロールの一定の効果も出ているが、不法投棄されたごみの早期撤去の方法も検討してもらいたい。
特に、公園等における犬のフン公害対策を強化してほしいです。
学校の屋上に、太陽光発電システムを導入できないか。災害時の避難所として、電力確保にも役立つと思う。
大型ゴミや資源ゴミの収集日に、軽トラックで勝手に出された物を持ち去る人が増えています。もったいない家具もたくさん見かけます。エコパークに持ち込み再利用できたらいいのですが。

施策12：地域農業の振興と優良農地の保全

- 転入者に茶器と茶葉を贈呈し、特産品の玉露を PR しました
- 補助金制度を活用し新規就農を促進するとともに、担い手の育成を図りました
- 農業後継者が不足することから農作業を請け負う組織づくりを支援しました
- 耕作放棄地の再生に奨励金を交付し、荒廃農地の解消を図りました
- 地元農産品を学校給食に利用することで地産地消の推進を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	3	4
無職	3	4
その他	3	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
普賢寺地域	4	4

地域農業の振興と優良農地の保全に対する意見・提言
地元農産物を学校給食にもっと使うほか、近くのスーパー等でもっと取り扱われるよう、市が働きかけをしてほしい。
市民が農業体験できる場所があればと思います。
玉露の茶葉や急須を転入者だけに贈呈するのではなく、平和堂やスーパーに特産品の試飲、試食コーナーを設け PR するとよいと思う。
転入者に茶器と茶葉を贈呈する必要があるのか。どのように効果があったか見えない。
給食センターを建て、地元農産品を使用した小・中学校一貫の給食サービスが実施されることを望みます。
学校給食に、地元農産品をどんどん取り入れ、100％とはいかないだろうが、可能な限り地産地消を進めてほしい。規格外の野菜を使用することで、農家の支援や給食費のコストダウンが図れるのでは。
保育所、幼稚園、小学校で、子どもが農業にふれる機会を作ってみるとよい。私自身、保育所や小学校で田植えを経験した事が、いい思い出になっています。また、食べ物を大事にする気持ちが芽生えると思います。
子どもが農業体験できる市のイベントをつくってほしい。
増加している耕作放棄地を市民農園として大いに活用し、市民が自宅近くで野菜づくりできるようにしてほしい。
茶器、茶葉をいただき有難うございました。京田辺が玉露の産地日本一になったと聞いてびっくりしました。
地元農産品を使った昔からの郷土料理等、レシピ本があれば、市内の家庭で地産地消につながると思う。
地元の野菜や米を、JA などでいつでも購入できるようにしてほしい。
自信を持って差し上げることのできる京田辺のお土産品がほしい。
お茶は、宇治が有名で京田辺が玉露の産地だとは知りませんでした。お茶を利用した高級和菓子やナスを使った高級漬物などを開発してもらい、手土産や進物に利用したい。
耕作放棄地の活用のため、農地を利用する企業の誘致や農作業を請け負う組織づくりを強化すべき。
「道の駅」を整備し、地域の野菜、農作物、加工品を直売する場所を増やしてほしい。
民間の貸し農園は大変利用者が多いことから、市の事業として、荒廃農地を活用した貸し農園を整備してはどうか。
地元野菜を地元で売ることができる出荷システムができればと思う。美味しい新鮮な地元野菜を大阪の市場に出す前に、学校給食だけでなく、各家庭で使ってもらえるよう地産地消を推進すべき。
農家の余剰農地を地域住民に小面積で貸し出せる制度をつくり、市内のサラリーマンが休日に土に触れ、野菜作りなど、健康的に、有意義に休日を過ごせるようにしてはどうか。
田辺ナスに続くブランド産品の開発に、市、JA、農家が共同で取り組む必要がある。
お茶は宇治だけだと思っていたが、転入時に茶器、茶葉、玉露 PR のパンフレット等をいただいたことで、京田辺が玉露の産地と知れて良かった。
市役所など、市の公共施設に特産品の茶（玉露）が飲めるコーナーがあるとよい。
農業従事者が平均65歳以上の中、販売組織や農作業を請け負う組織を法人化しないと補助が出せないと言わず、一定の実績があれば、柔軟に補助金運用に対処されることが必要。

施策13：商工業の振興によるにぎわいと活力の創出

- 商店街のイベントに助成を行うほか、空き店舗の活用を推進し、商店街の活性化を図りました
- ホームページに産業総合情報サイトを構築し、新たな企業立地の促進を図りました
- 大住地域で進められている組合施行の工業系土地区画整理事業の推進に、積極的な支援を行いました
- 緊急経済対策として、市内業者による住宅や店舗のバリアフリー改修工事に助成金を交付することで、市内での工事発注の誘発を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	3	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	3	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	3	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	3	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
普賢寺地域	3	4

商工業の振興によるにぎわいと活力の創出に対する意見・提言
取り組んだ施策事業の効果が、良くわかりません。
特定の商店街イベント助成、特定の業者への助成には、疑問を感じる。
もっと、中小企業の活性化に取り組んでほしい。
同志社山手の山手幹線沿いに店舗を誘致してほしい。そのことで市南部に活気が出る。
夏の花火大会がなつかしい。市民が楽しめ、賑わいの出る大きなイベントがほしい。
企業を誘致し、もっと市民の働く場を創出してほしい。
近鉄新田辺駅東口の取組みについて、今の状態ではまったく成果が見られません。
新田辺駅東側商店街の空き店舗をもっと利用し、地域の特産品などを PR できないか。
商工業の振興策について、市の具体的な将来ビジョンが見えない。
大型店舗に押されがちな個人商店街の活性化には、もっと若い人達が店の経営を後継ぎできるように、市がバックアップすべきではないでしょうか。
個人商店への応援は大切です。地元で身近な顔の見える商店街を応援してほしい。
夕涼みの集いを家族で楽しみにしていたが、無くなって寂しい。代わるイベントを。
商店街の空き店舗の有効活用として、地域のサークル活動や趣味活動等ができるように用途を拡げては。（人が出入りする事も重要な活性化となる）商店のシャッターが閉まっていては不景気そのもの。
宇治市、城陽市等のように、市役所における市内業者への優先発注を進めてほしい。
商店経営者への経営指導によって、店側から発展できるような働きかけが必要では。市内の、おしゃれな店舗を地図付きで紹介できるような情報誌を市が発行してはと思います。
同志社大学の学生を全く取り込めていない。一部では頑張っているが、企業のサポートが必要である。
新田辺東商店街に関し、田辺高校までの間が暗くて活気がない。防賀川をきれいに整備して、春には桜の名所にするなり、市と商店街が協力して商店街を活気づけてほしい。商工会は、商店街の活性化にもっと力を入れるべき。

施策14：同志社大学の持つ技術や地域の観光資源を生かしたまちづくり

- 同志社大学連携型起業家育成施設（D-egg）の入居者を支援し、大学の知的資源を生かした起業家を育成することで新産業の創出を図りました
- 同志社大学や商工会と連携してビジネスフェアを開催し、起業家の販路拡大等を支援しました
- 携帯電話端末を利用した観光案内板を設置し、酬恩庵一休寺や観音寺などの市内観光資源への観光客の誘致を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	3
40 歳代	3	3
50 歳代	3	3
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	3
自営業	4	4
公務員	3	3
農業	4	4
家事専業	3	4
学生	3	4
非正規雇用	3	3
無職	3	4
その他	3	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	3
10年以上20年未満	3	3
20年以上	3	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	3	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	3
三山木地域	3	4
普賢寺地域	4	4

同志社大学の持つ技術や地域の観光資源を生かしたまちづくりに対する意見・提言
同志社大学と地域の連携が不十分。大学の施設や知的資源を、もっと地域に還元できるよう取り組んでほしい。
同志社大学外国人講師や留学生と子どもが交流し、英語で話しあえるイベント（サークル）などを創設してほしい。
同志社大学の全国的知名度を生かし、同志社のあるまちとして PR しながら、まちづくりを進めてほしい。
一休寺にアクセスする市道が狭くて気になります。大型バスが、楽に通行できるよう拡幅できないものでしょうか。また、一休寺の環境保全は、市の責務ではないですか。
神社等、小さくても古い社も多くあり、市内道路に案内板を整備しては。
同志社大生は、三山木地域を完全に素通りしている。もっと、学生が集える三山木地域のまちづくりが必要。
同志社大学の技術が、京田辺市を拠点とした新産業につながるか疑問。
市内の企業と同志社大との産学連携が、もっと進む施策を期待します。
京田辺市は観光都市とは言えない。集客を図るには、市内外に通じるイベントの発掘、企画、実行が必要となる。
観光案内所が駅から離れた位置にあるのではダメ。近鉄新田辺を降りてすぐに目に付く場所に移すべき。
同志社大学の音楽コンサートなどの回数を増やし、市民がもっと参加できるようにしてほしい。
市のシンボルで自然の残る甘南備山に、もっと注目すべき。毎日歩く人達が増えてきています。ハイキング道、遊歩道を整備し、自然に親しむ中でのイベントなども取り組むべき。
友人、知人には、一休寺の事がほとんど知られていません。もっと外へ PR すると同時に、一休寺に来たついでに寄れるスポットが周りにあると良い。飲食店、雑貨店、古民家など発掘し、観光客に紹介すべき。
同志社大学の今出川学舎は、自由に入れる雰囲気がある。京田辺キャンパスも、市民が親しめるよう市から大学に働きかけてほしい。
行政と同志社大学のさらなるタイアップに期待します。大学をどのように使えば京田辺と大学の両方の発展になるか。新しい視点を常に持って進んでください。世界中に、見本となる例があるはずです。
大学生と市民の交流機会を増やしてほしい。特に、子ども達と学生さんのイベントやプロジェクトを。
一休寺は、中国人にも人気のスポット。もっと売り出すべき。
D－egg 入居費を市が支援しているが、市の発展につながるような起業家の育成に成果が出るよう、入居企業のちゃんとした評価をすべき。
D－egg 入居費を助成しているが、京田辺市で起業してもらわなくてはお金が市に入ってこない。入居費の助成だけでなく、起業しやすい環境はつくられていますか。
「D-egg」について、市民が関心を持てるように広報することが必要。
古寺だけが観光資源ではありません。創造的に観光資源を開発する取組みが必要ではないでしょうか。
外国人観光客の誘致に向けて、同志社大学に留学する海外学生の活用と交流を進めるべき。
もっと、観光案内を拡充してほしい。
大学の知的資源を生かした新産業の創出とは、具体的にどのようなものか。市民が理解できるように広報すべき。
木津川マラソンが開かれた時、新田辺駅の東側に大きな「歓迎の幕」があったが、他にあまり目立つ物がなかった。府外、市外からたくさんの方が訪れるイベントは、もっと来訪者を歓迎し、お土産になるような物や記念になるような物を開発して売ってはどうか。市の PR にもつながる。
同志社大学の施設（図書館等）を、市民に無料開放をしてもらえるよう大学に働きかけてほしい。
一休寺以外に、観光の目玉になるような観光資源が必要と思います。

施策15：豊かな自然の保全と緑の再生

- 京田辺市開発行為等の手続等に関する条例を定め、良好な都市環境の形成を図るよう務めました
- 公園遊具の改修・撤去を行い、良好な遊び空間の提供に努めました
- 公園里親制度の導入に向け、住民参加による公園緑地の管理に取り組みました
- 甘南備山の環境整備に助成を行ったほか、誕生記念樹の配布や生け垣設置に助成を行うことで、豊かな自然の保全と街中における緑の再生を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	3	4
無職	3	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	3	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

豊かな自然の保全と緑の再生に対する意見・提言
公園から遊具がほとんど撤去されてしまい子どもの遊び場としての魅力がなくなった。どうなっているのか。
市有地の樹木の剪定を、もう少し短いサイクルでお願いします。美しい緑を保つには、日頃の管理が重要です。
公園を見ると老朽化したブランコ・鉄棒がなくなった。子どもたちの安全のためには必要な事であるが、子どもの遊び場として早く新しい遊具を整備してほしい。
老朽化した公園遊具の撤去が行われたが、撤去されたままになっている所が多く、子どもたちがとても気に入っていた遊具なので、とても残念だ。早く新しい遊具の設置を行ってほしい。
甘南備山の整備、大住ヶ丘方面からの登山道は、整備が不十分なので改善してほしい。
公園は、子どもだけでなく高齢者などもくつろげるよう、遊具だけでなく、ベンチなどの整備にも力をそそいでほしい。
木津川サイクリングロードをバイクが通行して危険。バイクの進入を取り締まってほしい。
市内のあちこちで、もっと緑や花が増えるよう取り組んでほしい。
緑地散策、池、野鳥、草花など、親子で一緒に散策できる公園が少ない。
子どもたちがボールけりやバスケットなど手軽に遊べる公園も整備してほしい。
公園を整備する際には、防災機能を持ち、避難所としても使える計画を取り入れてください。
一休寺裏山の宅地開発について、法律、条例、先進事例等を検討し、行政指導で止めるようできないか。
高齢者の多い地域では、高齢者用の健康遊具などが整備されれば嬉しいです。
木津川の堤防を活用し、桜満開の下で、一日楽しく過ごせるような施設が整備できないか。
犬のフンは不衛生である。小さな子どもが安心して公園で遊べるよう、ペットの公園立ち入りを禁止すべき。

施策16：心豊かな子どもを育てる教育の推進

- 中学校への英語指導助手配置と小学校への巡回指導英語指導助手配置による国際理解教育の推進や情報機器を活用した情報教育を推進しました
- 教育相談や専門指導員を配置した適応指導教室を開室し、不登校傾向にある児童生徒の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図りました
- 小・中学校の校舎の耐震補強と大規模改修を計画的に実施したほか、校庭の遊具安全点検、幼稚園遊戯室のエアコン設置や田辺中学校南校舎改築など、教育環境の整備を行いました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	3	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

心豊かな子どもを育てる教育の推進に対する意見・提言
緊急時に避難場所となる学校施設の耐震化を、スピードアップしてほしい。
高齢者と子どもが触れ合えるような機会があればと思う。
いじめはなくなりません。メールでもしています。気をつけてほしい。
不登校者の児童・生徒、親への指導が、まだ足りていないのでは。
外国語より、もっと日本語教育を重点的にするべき。
昨年の夏の暑さを考えると、小・中学校にエアコンが必要なのでは。
頭で覚える英語は何の役にも立ちません。英会話が大切です。
中学校給食の導入を進めてほしい。
学校での礼節、マナー等、しつけ教育の必要を感じる。
23年度から、「英語」が必須になるらしい。英語圏の都市との姉妹都市提携や市民交流ができないか。
英語指導も大切だが、日本語の理解の充実を。
体力の低下や家庭環境の変化により、子どもの体力が落ちています。幼稚園の施設環境も改善が必要です。
小・中学校の教育に、大いに情報機器や環境の整備を行ってください。
不登校、いじめ、発達障害など、対応がまだまだだと思います。子どもの数に比べ、教師の数もたりていないのではと思います。特に、小学校１年生の教育は慎重になってほしいです。
心の教育をもっと重視するべき。言葉や態度で人の心に傷をつけてはいけない。小学校の間に、もっと人権問題について教育すべきだと思います。
子どもたちが、学校でもっと本に親しめる環境を作ってほしい。
子どもが通う小学校のクラスは学級崩壊寸前です。学校のしっかりした対応を強く望みます。
中学校における部活指導が教師の大変な負担となっているようです。休日や放課後に、専門知識のある方に部活動の指導を任せられるシステム作りができないものか。
学校校舎等の安全対策はもちろん必要ですが、先生方の仕事量が大変多いと感じます。もっと教員を増員するなど、教育現場の改善が必要に感じます。

施策17:いつでもどこでも自由に学べるまちづくり

- 図書館図書貸し出しシステムを更新し、インターネットによる蔵書検索・予約を可能にしました
- 京田辺市立施設以外の文化施設の利用に助成金を交付し、市民の文化活動を支援しました
- 大学との連携により「京たなべ同志社ヒューマンカレッジ」を開催し、大学教員による市民の学習機会を設けました
- 中央公民館や住民センターにおいて、市民の学習意欲に応える各種講座や教室を開設しました

Ⅰ. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

いつでもどこでも自由に学べるまちづくりに対する意見・提言
市以外の文化施設の利用に助成金が出ることを初めて知りました。広報の充実を望みます。
ヒューマンカレッジのテーマをもう少し親しみやすいものにしてほしい。
市南部の三山木周辺にも図書館がほしい。
市以外の文化施設利用に対する助成金はとても助かりますが、市内に市立の文化施設の整備をお願いします。文化の発展を思えば、市外より市内でイベント等行えるのが理想です。
図書館での勉強行為を認めてほしい。別に勉強スペースを設け、市民誰もが集う図書館にしてください。
同志社の図書館を、もっとフリーに使えるようにならないでしょうか。
仕事をしている人も参加できるよう、休日や夜間に市民講座があるといいですね。
小さい子どもを抱える者も受講できるように、各種講座を充実してほしい。
市民講座をもっと充実してほしい。テーマ別に、大学と協力して教養レベルを向上しては。
学習機会を市民に提供する取組みは重要で利用したいと思う。利用実績、利用者の意見等も反映し、さらに利用を促進してほしい。
もっと、夜間の教室を開いてほしい。
高齢者が学ぶ場所づくりをしてほしい。中央公民館に、学ぶスペースを設置してほしい。
中央公民館の使用願の手続きが簡単にならないのですか。電話、ファックスで予約できるようにしてほしい。
図書館を祝日も開けてほしい。土曜日や日曜日は、午後6時まで開館してほしい。
南部地域に大学はあるのに、図書館やコミュニティセンターなどの施設がなく、物足りなさを感じています。
市民に“文化ホール”などの建設希望の声があります。しかし、施策の運営に苦慮している近隣市町が多いことから、今のように市独自の施設を持つのではなく、助成金方式で進められる方がよいと考えます。また、市内には、同志社大学があり立派な施設があることから、大学と連携して、市民の文化活動を支援するのがよいと思います。
図書館でゆっくりくつろげるスペースをもっと増やしてほしい。有料でよいから、喫茶室などがあればと思います。
夏期や週末は、図書館の閉館時間をもう少し遅くしていただきたい。休館日が多いように思います。
高齢化社会の実態に沿った市民講座を、もっと開設すべきと思う。
図書のインターネットによる予約と移動図書館は、とても便利で助かっています。公民館などでの市民講座もよく利用して楽しませてもらっています。
図書館まで遠く、マイカーのない私にとっては利用したくてもできないのが現実です。松井山手エリアにも図書館ができれば子どもを連れて通いたいです。
市以外の文化施設利用に助成金交付とありますが、この制度を知っているのは僅かな人だけではないかと思います。対象となる文化施設とは、どの程度の施設を言うのか、広報などにより具体的に示してほしい。

施策18：生涯を通じてスポーツに親しめるまちづくり

- 生涯スポーツフェスティバルや各種スポーツ教室などを開催し、スポーツの振興を図りました
- 大学と連携して京たなべ同志社総合型地域スポーツクラブを設立し、スポーツの振興を図りました
- 一町田多目的運動広場を新設したほか、田辺公園テニスコートや田辺公園プールの改修を行うなど、市民にスポーツに親しんでいただけるよう施設を整備しました
- 防賀川公園に休憩所、トイレ、スポーツ施設の夜間照明を設置し、市民の憩いの場として整備しました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

生涯を通じてスポーツに親しめるまちづくりに対する意見・提言
一町田多目的運動広場が整備されたが、あまり利用されていないように思う。
市民の健康志向が高まるなか、ジョギングやウォーキングできるコースを市内に作ってほしい。
大学生の同好会などによる体育施設の利用が多く、一般市民が利用できないことが多い。
テニスコートなど、ネットでの予約ができればと思います。
高齢者が運動できる機会が全体的に少ないように思います。市で、誰もがスポーツに親しめるような企画を立案ください。
地域（自治会）の運動会などが盛んに行われるように、市が働きかけては。
市民誰もが健康、体力づくりができるよう、スポーツ振興に大いに力を入れてください。
高齢になると色々な教室に通うのが遠くて大変。近くの地域の公民館でスポーツ教室等があればと思います。
場所があっても、実際にスポーツを始められるような情報が少ないと思います。特に、働いている人が夜に使用できるところは少ないのではないでしょうか。
中高年が余暇、スポーツを通じて健康増進できるような施策を充実してほしい。
市の財政が厳しいことから、市立だけでなく、民間のスポーツ施設の誘致を推進してはどうか。
同志社大学と提携して、高齢者へのスポーツ講座や教室の開催を希望します。
子どもが近場で参加できるようなスポーツ教室など開催してほしい。
地域自治会での運動会は、高齢化が進み、参加希望者はほとんどおられません。高齢者の健康づくりに一工夫が必要と思います。
スポーツ同好会の PR と一覧表を市民に公表し、市民のスポーツ参加を促進してはどうか。
まだまだ運動施設が不足です。グラウンドの予約が取れない状態です。
体育館の空調設備導入を考えてはどうですか。今の時代に遅れているように思えます。

施策19:行政情報のわかりやすい発信

- ホームページをリニューアルし、行政情報の発信を充実しました
- 職員が地域に出向いて施策・事業を説明する出前講座を始めました
- 市役所庁舎2階ロビーに行政情報コーナーを開設しました
- パブリックコメントやワークショップにより、市政に市民の声を反映しました

Ⅰ. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

Ⅱ. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

Ⅲ. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	3	4
家事専業	3	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	3	4
その他	4	4

Ⅴ. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

Ⅵ. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	3	4
松井・大住（旧大住地域）	3	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
普賢寺地域	4	4

行政情報のわかりやすい発信に対する意見・提言
市ホームページの内容が見にくく、更新のスピードが遅いのでは。
行政言葉をやめて、市民がわかりやすい言葉での表現が必要。カタカナ言葉や漢字が多すぎる。
職員の出前講座ですが、いいですね知りませんでした。市民と直接話す機会も増えますし、プレゼンテーションの練習もできますし、参加してみたいです。
行政の情報が、まだまだみんなに知られていない。もっと、積極的な発信が必要。
ネットで配信したからと言って、市民に情報発信したとは必ずしも言えない。役所に情報コーナーを開設しても、多くの人目に入る事はない。駅前、アルプラザなど、多くの市民が集う場所に情報スペースを作るべき（土日でも目に入る）
今回、こういった形で市民の意見に耳を傾けてくれる事に感激しました。さまざまな意見や希望が出てくるかと思いますが、一つでも多く取り組んでいただき、よりよい市になって行く事を願います。
ホームページは、まだまだ分かりにくい。利用者の立場で。
市のHPを時々利用していますが、概ね知りたい事が確認できるので重宝しています。ただ、情報量については多くなく、一次的なことしかわからない。もっと、内容を充実すべきと思います。
広報紙だけでは、なかなか情報を得る事は難しいです。ホームページは、以前よりわかりやすくなってきました。
市のホームページから、スポーツ施設の予約ができるシステムを作ってほしい。
市役所の職員がロビーに立ち案内をしていましたが、とても良い印象を受けました。
高齢化社会の中、パソコンなど利用しない人への広報手法を考える事も必要。
子育て支援のページをよく見るのですが、電話番号等が載っているだけでどうしたらいいのかわからない。「良くある質問」とか、Q&A が載っていると、ホームページだけで解決できそうです。ぜひ取組みを。
ホームページに、年末年始のゴミの収集予定や子どもの健診の日程など、タイムリーな話題や予定をわかりやすくのせてほしい。
”発信”する事は、とても大事な事ですが、その結果として住民にどの程度”受信”されたかと言うことが、より大事だと思います。市役所は“出かけたついでに寄る”という場所ではありません。高齢世帯が置きざりにされない施策を望みます。
どのように市民の声を反映したか、積極的にアピールすべき。
各種申し込みなど、FAX とインターネットをもっと活用すべき。
ホームページの行事の更新が遅い気がします。報告項目よりも、予定項目をもっと早く開示していただきたい。
年末年始のゴミ捨ての表を失くしたので、ホームページで確認しようとしたら、どこにもなくて困った。市民に伝えたい情報は、トップページに載せて発信するなど、ページのレイアウトに工夫も必要。
行政情報の発信には、ホームページを利用できない人達もたくさんおられる事を忘れないでください。
市職員が、もっと住民の中へ入って住民の現状やニーズを汲み取るべきだ。
広報紙が、なぜ自治会から配布されるのかわからない。以前住んでいた所では新聞に入っていたし、府民だよりも新聞に入っている。効率的でないような気がする。
市の広報紙は見にくいです。「お年寄り向けのページ」「子どもの情報のページ」など、読者が一目でわかるように、紙面を構成できませんか。
どんな施策も、市民に伝わらなければ意味をなさないものになると思います。情報発信を行った結果、市民にどの程度周知できたかなど検証することで、様々な発信の方法を検討してほしい。

施策20：効率的な行財政運営の推進

- 公共土木建築工事や測量設計業務等の入札に電子入札を導入し、手続きの透明化や事務の効率化に取り組みました
- 職員特殊勤務手当の廃止や見直しを行ったほか、職員駐車場を有料化しました
- 田辺中央体育館などの有料運動公園の管理に指定管理者制度を導入しました
- ホームページバナー広告、ごみ収集車車体有料広告による新たな広告料収入を確保しました
- 市民税・国保税等のコンビニでの納付を可能にし、収納率の向上を図りました

Ⅰ．全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

Ⅱ．男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

Ⅲ．年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

Ⅳ．職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

Ⅴ．居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

Ⅵ．地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
山手、松井ケ丘、花住坂、大住ケ丘（新大住地域）	4	4
松井・大住（旧大住地域）	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
普賢寺地域	4	4

効率的な行財政運営の推進に対する意見・提言
職員の方は、車でしか通勤できないのでしょうか。何故、通勤に公共交通を利用しないのか。
優遇されている部分で見直しや廃止しなくてはいけない事が、まだまだあると思います。さらに努力してほしい。手当廃止や見直しを図る点は評価したい。
行政改革については、取り組んだ成果を数字でわかりやすく市民に報告してほしい。収納率は以前より何パーセント増加し、全国的にどの位かも教えてください。
市職員の給与の見直し、市会議員の給与の見直しも求めます。職員の車での通勤を廃止すれば、道路の危ないところも良くわかるのではないですか。環境にも良いですよ。
税金をコンビニで払えるようになって便利になりました。
水道料金等、クレジットカード払いを可能にしてほしい。
職員の危険手当や正月出勤手当などは家庭を犠牲にしておられる。手当は出すべきである。
職員駐車場有料化は高く評価する。通勤は、原則公共交通機関を利用してほしい。
効率化の結果を数値で示し、市民に対して説明するべき。また、次年度以降、更にどのように取り組むかを市民に示すことが肝要。この繰り返しを定例的に行なわなければならない。
指定管理制度の導入によって、行政サービスが低下しないように。
民間会社員が、車通勤で駐車場料金を会社に支払う制度などないと思う。公務員ばかりがびくびくして、駐車場の有料化を実施するのもおかしな話で理解できない。きちんとした仕事をしている人間には、報酬を支払うべき。
職員手当の廃止は市民にうけると思うが、市長や市議会議員、各種委員手当の公開と削減の検討をされたい。
市民税を一括納入した場合の優遇制度（割引）を復活しては。
職員特殊勤務手当は、昔からあったのに今頃廃止するとは遅すぎる。他にもムダな経費をなくして、事業仕分けをするべき。
市役所職員と民間会社との人事交流を図り、特に幹部職員の頭の柔軟性が必要。（若手より中堅）
市議会議員の定数削減。手当の廃止も、市職員と同様に実施してほしい。
年末年始手当について、対象職種（消防、水道）や支給金額等を給与条例に明記し、適正な額を支給することについては、一市民として抵抗はない。それより、市議会議員報酬の削減を検討されるべきと考える。
手当をはじめ、職員の残業などを無くすよう考えてほしい。税金を効率的に使ってほしい。
企業と同様に、効率化を目指して行く事が必要だと思う。

Ⅲ. 広報に関する市民の意識（※回答者総数:2, 136人）

1. 市からの情報はどこから得ていますか。（複数回答可）

入手先	回答数
1. 広報京たなべ	1,869
2. 市議会だより	716
3. 市ホームページ	275
4. 市からのチラシ	386
5. 市内にある広報掲示場	242
6. その他（回覧板、知人等）	30
7. 市からの情報は得ていない	92

2. 市の広報紙『広報京たなべ』を読んでいますか。1つ選んでください。

広報紙への関心度	回答数	回答率（A/2, 136）
1. よく読んでいる	872	40.8%
2. 関心のある記事は読んでいる	981	45.9%
3. あまり読まない	139	6.5%
4. まったく読まない	106	5.0%

3. あなた（家族を含めて）は、インターネットを利用されていますか。

インターネット利用度	回答数	回答率（A/2, 136）
1. 利用している	1, 564	73.2%
2. 利用していない	533	25.0%

4. 市のホームページをご覧いただいていますか。

市 HP 利用度	回答数	回答率（A/2, 136）
1. よく見ている	88	4.1%
2. 時々見ている	442	20.7%
3. あまり見ない	611	28.6%
4. まったく見ない	901	42.2%

5. 問4で「3. あまり見ない」「4. まったく見ない」の理由をお聞かせください。（複数回答可）

市のホームページを閲覧しない理由	回答数
1. 必要がない	312
2. 見たくない	22
3. 見づらい	102
4. 興味がない	308
5.「広報京たなべ」で十分	694
6. 市のホームページがあることを知らなかった	323

提出者の属性（地域分類では、大住を大住新市街地［大住ケ丘、花住坂、松井ケ丘、山手］と大住地域［前記以外の大住及び松井］とした）	市政に対する意見・提言
［女性　70歳以上　無職　田辺地域］	市民が気楽に利用できる場を作ってほしい。公民館はなかなか利用できません。少人数でも利用できる場が特にほしい。婦人会館も市民会館もない京田辺市。文化面も遅れていて何もない。これから高齢者が多くなってゆく市。年寄りが気楽にくつろげる事も考えてほしい。
［女性　30歳代　アルバイト等非正規雇用　田辺地域］	府道八幡木津線は歩道もなく、道幅もそんなに余裕がないわりに交通量がとても多く、危険を感じます。一部ある歩道もベビーカーを押していたり、自転車だと車道に出るしかなく、危ないと感じることも多々ありました。何とか対策していただけるとうれしいです。
［男性　40歳代　会社員　大住新市街地］	高齢者の方がこれから増えていく中、免許証の返還による公共交通機関の割引、無料利用ができるようにしてもらえたら、まちの活性化にもなると思うし、介護予防にもなると思う。
［男性　30歳代　会社員　田辺地域］	若年層の生活が非常に困窮し、結婚に対して関心を抱けなく、より高齢社会が進む。こういう流れが加速しているようにひしひしと感じざるを得ません。若年層の人間が、将来の生活に望みを持ち生きていけるようなまちづくりをしてほしい。街の真ん中に大きなショッピングセンターが一軒だけあって、あとは何もないのではなく、色々な顔を持った商店が並んでいる景色が京田辺にあってほしい。しかも、若い力が中心となっているみたいな街がいいですね。
［男性　30歳代　会社員　大住地域］	松井山手駅前の屋根付き自転車・バイク置場について、次の改善をいただきたい。①終了時刻を 23 時 30 分まで延長してほしい。いま時、22 時 30 分で仕事が終わらない人も多いのではないか。②最近はスクータータイプのスペースをとらない 90cc 中型バイクも増えている。スクータータイプであれば、50cc 以上（中型）バイクも駐輪 OK にしていただけないだろうか。
［女性　20歳代　家事専業　田辺地域］	バリアフリーにしたり、エレベーターを増やしたり、助成金を出して「福祉の街」とかいう特化したものがあった方がいいと思います。何にいま力を入れているのか、何をしようとしているのか、分かりにくい。これから育児をしていくので、保育園を整備したり、児童館を大住だけでは非常に行きにくく不便なので、図書館の一室を開放したりしてほしい。子どもを育てやすい、お年寄りよりにも優しい街であってほしい。昔、夏祭りがあったと聞きました。復活してほしいです。
［女性　30歳代　アルバイト等非正規雇用　大住新市街地］	子どもの安全を守るのは大事な事だと思うが、少し過保護すぎると感じる事がある。登下校の際のマナーなど、もっと大人がきちんと教えて必要ならばきちんと叱れる環境づくりをしてほしい。
［女性　40歳代　公務員　草内地域］	乳がん検診・各種検診の案内があっても、平日は行けず結局後回しになるのが現状です。土曜日にも、数回設定いただけるとありがたいです。
［女性　30歳代　会社員　田辺地域 ］	市民が参加できるまちづくりになるよう頑張ってください。
［女性　40歳代　アルバイト等非正規雇用　田辺地域］	子ども達が安心して遊べる公園がほしい。保育園の一時預かり、直ぐにみてほしい時があるのでなんとかしてほしい。母親が病気の時、子どもを見てくれるサービスがあればいいなと思う。中学生で煙草を吸っている子が多い。なんとかならないですか。もう少し住みよくしてほしい。城陽の中学校などは給食があるのに、なぜ田辺はないのか、本当に真剣に考えてください。
［男性　30歳代　公務員　田辺地域］	中学校給食の実施を願いたいです。食育をうたって給食を実施しないのはおかしい。共働き世帯が増え、中学給食をしている県・市が多いなか、京田辺は実施していない。医療費助成を止めてでも給食を希望。医療費自己負担 200 円ということで、軽い症状でも病院に行く親が多い。自己負担を上げるべき。（宇治市を参考に！）赤字団体になる前に、税金を大切に使ってほしいです。
［男性　70歳以上　無職　　三山木地域］	具体的に伝わっていない事が多いように思う。特に、年寄りにとってインターネットによる情報は、どうも馴染が薄くとっつきにくく、情報が伝わりにくい事もある。インターネットをしない者が悪いと思われるかもしれないが、年寄りにとってとっつきにくい事はまぎれもない事実です。もっと町内会や自治会等を通じ、情報が緊密なものになればと思う。町内会の役員さんも大変だとは思いますが、持ち回りで皆様のお世話ができれば良いと思います。
［女性　20歳代　学生　草内地域］	大学で地域を活性化させるためのアイデアを考える機会があり、初めて市の HP を見ました。京田辺市はどちらかというとベッドタウン。でも普通のベッドタウンではなく、学生の多いベッドタウンだと思いますので、もっとネットを使ってまちを盛り上げていけるのではないかと思います。学生を上手く利用すれば、ネットでの戦略はきっと早く広がるだろうと思う。同志社大学は、1、2 年京田辺、3 年から今出川というように、下宿生の多くは 2 年生で引っ越すという短期間サイクルです。短い間だけど、もっとまちに密着してもらい愛着を持ってもらうことができたら、まち全体も活気づくのかなと思いました。そのためには、やはり情報です。情報を伝える方法を工夫していけばいいと思っています。学生は新聞をとらない子が多く、地域の情報が折込みチラシなどでは入りません。一人暮らしだったら、分からないことがいっぱいだろうと思います。そういう意味では、地域コミュニケーションの強化が重要になって来ると思います。

（市政全般に対するご意見・ご提言）

［女性　20歳代　無職　　大住地域］	海外の人が来られる時に、交流する場を設けてほしい。ボランティアが英語を話せる場をもって、もっと仲良く世界的に平和交流をしたいです。
［男性　20歳代　会社員　三山木地域］	保育園を増やしてほしいです。田辺中学校を給食にしてください。
［女性　20歳代　アルバイト等非正規雇用　三山木地域］	同志社大学の生徒数減少（1，2 年生の今出川キャンパス）を報道で知り、急激な人口減少が予想されると思います。学生の需要にあわせた商業施設（店舗）などの活気が懸念される。このことは、まちづくりを進められる中でマイナス要因になるのではないでしょうか。山手幹線の早期開通（南方面への）により、多くの業種の誘致活動を進めていただき、にぎわいを期待します。
［男性　60歳代　無職　草内地域］	市議会議員の定数が、人口に比べ少し多いと思います。議員の給与が高く、出勤日数及び市民にとればほとんど努力のあとは見られない。一度議会を見学したが、形式のみで、見ていられませんでした。さらなる改善、努力が必要ではと思います。職員は、以前に比べ大変向上しています。
［女性　70歳以上　家事専業　大住新市街地］	市役所経由のバスが、まだまだ不足です。せめて 1 時間に 1 便はほしいと思います。高齢者にとっては、ただ遠いだけでなく、その道が危険（車が多い、スピードが普通じゃない、溝蓋がでこぼこ、せまい、etc）。
［女性　40歳代　家事専業　大住新市街地］	パリのマルシェのような市場を週末などに催すと楽しくてよいのでは。国際交流のため、どこかの海外の都市と姉妹提携を結ぶ。
［男性　50歳代　会社員　大住新市街地］	財政が厳しい折、市民が市に求めるのではなく、サービス等をあたりまえのように受けていたものを本当に必要か、又必要であったのかを考えるべきである。便利を優先すると、どうしても甘えてしまう。市は、市民サービス面においても事業仕分けを行い、財政にあった事業サービスを行うべきである。
［女性　50歳代　家事専業　草内地域］	ペット（犬）のフンを取らずに散歩している人がかなりいます。私も犬を飼って散歩していますが　フンは必ず持ち帰りトイレに流します。特に、男の人が散歩させているときは、放置したままです。カンバンをもっと多く立ててください。マナーの悪さにびっくりします。
［男性　50歳代　その他　草内地域］	高齢者社会が進んで行く中で、財政と高齢者福祉の充実をどのようにバランスを取って進めていかれるかが心配です。また、地域農業も同様で、今後農業を継がれる方も少なくなると思いますが、そんな状況を打開するための具体的な維持振興方針が必要であると思います。専業農家は別としても、中途半端な兼業農家の継続が一番心配されますので、小規模でも維持できる方策、例えば、市内住民との契約栽培や直売等、市が消費者とのつながりをつくるような施策を進めてもらったら、住民にも喜ばれるのではないかと思います。
［男性　70歳以上　その他　田辺地域］	京田辺の持つ大きな財産である「継体天皇」の筒城宮や大隅隼人など、全国的にもインパクトのある歴史的、学術的な資源を生かしたまち興しをしてはどうか。
［女性　50歳代　家事専業　大住新市街地］	市役所の窓口の事です。市民課、住民票とか戸籍に関しての窓口は、お昼休みもなく開いていますが、その他は閉められているので交代であけておくべきでしょう。仕事の昼休みに行きたい人が多いと思います。
［男性　40歳代　公務員　田辺地域］	新田辺駅や京田辺駅構内の空間を利用して、市役所の出張所や郵便局その他、駅中のフードスペース等の設備を作ってほしい。例えば、大和西大寺駅中、タイムズスクエアのように。
［男性　50歳代　会社員　草内地域］	市民が主役、その市民のために、どう改めなければならないのか、既存の行政仕事をただ同じようにやっているようにしか見えません。市のために役に立ちたいと思いを持っている人は少なくありません。是非、市民が自由に意見を言える「公聴会」を開催してください。
［女性　30歳代　会社員　田辺地域］	パソコンのスキルアップ、技能習得講座など、高齢者向けに近くの公民館での教室とかがあると苦手なキカイも練習して楽しくなるのでは。料理教室も好評です。中学校給食制度を希望します。
［男性　20歳代　70歳以上　田辺地域］	京田辺市の交通の便を、もう少しどこの地域からでも乗れるように考えてほしい。年をとっていくと、自動車、自転車は無理になるので、バス等の運行を考えていただき、家にひきこもらないように老後を過ごしたいと思います。
［男性　50歳代　公務員　大住新市街地］	山手幹線は、北部で一車線になっています。今でも、土曜、日曜、祝日等では交通渋滞が発生して、住宅の中の道路を抜け道として利用する運転手が多くいて危険です。将来、松井 IC 等が整備、完成すれば、交通量はもっと増えます。そうなれば、普段でも渋滞が発生するでしょう。山手幹線は、計画では全線 2 車線ときいたことがあります。2 車線にもどしてください。
［女性　70歳以上　家事専業　田辺地域］	高齢者になり、自分達の区、又自治会の事さえ十分に理解できない事が多くなりました。せめて、ご近所周りだけでもと、お互いに目配り、気配りを心掛けていますが、個人情報の流出とかで、理解しにくい事が多くなっています。自治会への参入もされない方が増えているとか・・・。お互いにお世話され、お世話する自治会ですから、各町内に引っ越しされた場合は自治会に入会いただくよう、役所の方からも進めていただきたいと思います。

（市政全般に対するご意見・ご提言）

［女性　70歳以上　田辺地域］	比較的住み良い所だと思いますが、人口が多くなるとどうかなぁと思います（税の収入に結びつくとよいのですが）。同志社大学の学生との連携は、もっといろいろ市で活用すべきだと思います。例えば、お茶を使ったスイーツを若い人達の発想で売り出す。薬学部があるので、化粧品の開発等（中小企業との連携）学生の知恵を借りる。
［男性　30歳代　公務員　田辺地域］	住みやすい、住んで良かったと思えるまちだと感じるが、ある程度まちづくりが完成してしまい、長期的なまちづくりに対しての姿勢があまり見えてこない気がしています。100 年先、200 年先を見据えて石井市政の時代に始まったと言われるような伝統を育むことも必要だと感じます。また、同志社大学の文系学部の移転により、まちの活気が失われると思いますので、同志社が移転した事を後悔する何か起爆剤となるまちの話題作りが必要だと思います。
［女性　30歳代　会社員　田辺地域］	車で移動ができる人には良いかもわからないが、自分が高齢者になった時、この市で暮らせるか不安です。買物をするにも不便ですし、市の施設へ行こうにも本数を含め交通の便が悪い。市役所へ行くバスも使い勝手が悪い。いろいろ取り組んで頑張ってみえますが、不充分であったり、形だけであるように思います。市役所職員が車で通勤されているようですが、年に何度か、または月に何度か、自転車、徒歩、公共交通機関を使う日を設けてください。市民の不便さを体験してください。市民の方々が頑張って見えるから、このようなアンケートができたのかと思います。どうぞ私達も協力しますので今後も頑張ってください。しばらくたってから、今回と同じ方にアンケートしてみてください。私は協力します。
［女性　40歳代　会社員　大住新市街地］	私は車を運転しませんので市役所に行くのが大変不便です。市役所に行くことが可能なバスを、もう少し多くしていただきたい。（無料の巡回バス等の検討）大阪で仕事をしていますので、平日に役所へ行くのは難しいです。土曜日に、午前中だけでも窓口を開けていただけたらと思うことがあります。
［男性　30歳代　会社員　田辺地域］	学力の差が大きいため、塾などに通わせないと追いつかないというのがあるようです。ただし、不適正としてしまうのは難しいと思いますので、補佐を常駐化する等の体制を取っていただきたいと思います。先生方だけに問題があるわけではありませんので、子ども達に対する指導、又その保護者に対しての注意に関しても、もっと厳しくしてよいと思いますし、もっと市や教育委員会でフォローしていただきたいと思います。小中高一貫体制も検討しては。
［女性　50歳代　会社員　大住新市街地域］	転入している人達が増えてきているが、地元への愛着とか、地域コミュニティを活性化させる取組みをもっと進めては。大住ケ丘から松井山手に引っ越したが、大住ケ丘のころは地元にずっと住んでいる方と交流し、しめ縄づくり、とんど祭りなどあった。
［女性　40歳代　アルバイト等非正規雇用　田辺地域］	留守家庭児童会に関して、小学校高学年では非常に退会者が多いです。うちの子は現在小学校 2 年生で、学童保育を利用させていただいていますが、もっと若手世代の職員さんが必要と考えます。高学年に関しては、放課後、塾のような（そこまではなくても）学習時間があっても良いのではと考えます。私個人的には、できれば小学校卒業まで学童を利用させていただくつもりなので（共働きなので）、ぜひ根本的な見直しをよろしくお願いします。
［男性　20歳代　学生　普賢寺地域］	普賢寺地域は、良くなっているとは感じられない。もう少し全ての地域を見てほしい。バスもほとんどなく、年配の方は少し買物をするという事でさえ苦労する。